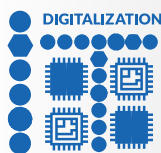


デジタル導入で あなたの やりたい!! を叶える



TOTTORI

デジタル導入にお悩みの
小規模事業者の皆様へ



デジタル
導入事例集



SKIP

NEXT

**アナログでも困っていないし…
手間やコストに見合った効果があるの？
どのツールを選べばいいの？**

現在そんな疑問や悩みをお持ちでは
ありませんか？

そんな声に丁寧にお答えしながら、デ
ジタル専門家が県内3社へデジタル
導入を行いました。いずれも低コスト
で効果を実感できているプランです。

ぜひご自身の事業の中でも取り組ん
でみませんか？

小規模事業者のデジタル導入による生産性向上事業
鳥取県商工労働部企業支援課



目次


- P1 — デジタル導入の目的と一般的なデジタル導入のメリット
- P2 — デジタル導入の流れとポイント
- P3-6 — 導入事例1 「女性専用ドライヘッドスパサロンguu様」
- P7-10 — 導入事例2 「足芝建築株式会社様」
- P11-14 — 導入事例3 「山陰松島遊覧株式会社様」



今回のデジタル導入事業の目的


デジタルツールの活用は、業務効率化・売上アップのサポートに大変有意義です。しかし、多くの小規模事業者がデジタル導入そのものにハードルが高いと感じられています。今回は、簡単に導入でき、低コストで効果の出やすいデジタルツール活用について3社の事例を取り上げさせていただきました。

一般的なデジタル導入のメリット




業務を効率化する

小規模事業者にとってデジタル化の一番の目的は、業務の効率化です。多くの企業が、デジタル導入により業務を効率化することで、コストを削減したり、労働環境を改善したりしています。特に「少ないコスト」かつ導入に手間がかからないことが重要です。



経営者の作業負担軽減

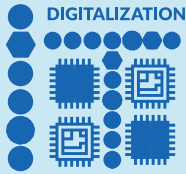
中小企業・小規模企業の多くが、人手不足に悩んでいます。業種によっては、求人難のため、黒字倒産や廃業のリスクも抱えています。デジタル機器の活用により、少人数でも業務を行える体制をつくることができれば、人手不足の解消につながります。特に経営者に全ての作業が集中しやすい小規模事業者にとって、デジタル導入は欠かせません。



経営基盤を強化する

デジタルツールは単なる業務の効率化にとどまりません。効率化の先には、事業の意思決定を迅速にし、データに基づく客観的で最適な判断も可能となります。特に小規模事業者にとっては利益確保、資金管理は重要です。





経営課題は企業の成長に合わせて変化していきます。
デジタルツールも経営課題に合わせて選定することが重要です。
今回は、3つの異なる経営課題をもつ事業者様に向けてデジタル導入を
ご支援しました。

創業・創業直後期

代表者がワンオペレーション。
サービスと事業を一人で行う必要がある。
時間も費用も節約し、効率化が重要となる。

guu様

今回導入したデジタルツール

予約システムアプリ^{トル}
会計ソフト^{フリー}(free会計)
スマートレジ^{エア}(Airレジ)

成長期

家族中心の経営から変わり、少しずつ従業員が増えているが、業務の中心が社長に偏る。
社長業務の負担軽減と社内の情報を活用することで、効率化を図るだけでなく利益・資金管理の基礎作りが必要となってくる。

足芝建築株式会社様

今回導入したデジタルツール

スマホ・スマートウォッチのショートカット機能
業務管理ソフト^{キントーン}(kintoné)

拡大期

業務分担が進み、企業が組織化されており、売り上げが増加する。一方で、一人一人の生産性の向上が課題になるケースが多い。属人的な業務になりやすいため、デジタル化により標準化を図り、効率化を目指す。

松島遊覧株式会社様

今回導入したデジタルツール

乗船受付のバーコードスキャナー
位置情報管理システム
(みてねみまもりGPS)



導入のポイント

さまざまな経営体制、業種の中で**ヒアリングから課題抽出に向かう過程**がとても大きなポイントです。現状を正しく理解すること、そして、向かうべき方向性を見出しながら、業務フローを作成し、解決の糸口を掴みます。

また、導入後も事業主様が自身で継続できるよう**早い(導入の速さ) 安い(低コスト) うまい(使いやすい・継続できる)**

この観点でご提案、支援をする必要があります。
そして本導入が最終的に経営課題(DX)を解決する目的となっているかを支援チーム全員で共通理解することも大切です。

支援専門家



岩田 広幸
(いわた ひろゆき)

中小企業診断士
ITストラテジスト



デジタル導入の流れ



相談(ヒアリング)

現状を正しく分析し、現在の状況と目指すべき方向性との差異を見出しそれらを課題とします。



課題抽出

課題抽出と同時に、導入できるレベルを確認します。それに合わせたデジタルツールの選定を行います。



プランの提案

いくつかのデジタルツールを試して、実際に合うツールを最終的に決定していきます。



実施

本格的なデジタル導入がスタートします。分からない操作方法などを専門家のアドバイスの下で、一緒に対応していきます。



アフターフォロー

課題点を見出し、次に繋げていきます。導入後も維持できるようなフォローが必要です。



お客様へやすらぎを 女性の悩みにそっと寄り添う

『瞬で宇宙にいつてしまう「絶頂睡眠」をあなたに』
そんなお店のキャッチコピーを掲げ、日々お客様に向き合
うguu。

癒し空間づくりを徹底し、アロマオイル、BGM、プロ
ジエクターの活用、経験を積まれたヘッドマッサージなど、
女性専門店ならではの空間とサービスの提供、また、施術
中の対応がとても心地良いお店です。

一年前にオープンしてから、一人で経営、事業を展開して
いるオーナー松本さん。

日々、お客様が増えるにつれて業務も増えてきました。お
客様に寄り添う時間を増やしたいという思いから、この度
のデジタル導入を決めました。

導入後の柔らかい笑顔からは、心のゆとりと、お客様と
の会話を心から楽しむ時間を感じられました。導入に際
してどんなことに取り組まれたのかご紹介します。



企業情報

女性専用
ドライヘッドスパサロンguu
鳥取県米子市皆生
(要事前問い合わせ)
代表者 松本莉菜氏



創業直後の事業者 が抱える課題

創業時、または、創業直後は代表者がサービスと事業を一人で行わなければなりません。そのため、時間も費用も節約し、効率化が重要となってきます。代表の松本さんも同じ悩みを抱えていました。



導入前の課題

一人で全ての業務をこなす難しさ

・売り上げ管理のために領収書を書いており、時間がかかるのが毎回のことで小さな手間だった。

・顧客管理の術がなく、施術前や後に紙のカウンセリングシートを確認していたため時間がかかっていた。

・売り上げや経費等々、ひとつひとつエクセルに手入力しており、月末の入力や書類整理に約2・5時間ほど要していた。

・LINEとインスタDMからの予約でやりとりが多く手間がかかっていた。

・LINEで予約のやりとりをしてから個人のスケジュール帳に入力していたので、二度手間になっていた。

こんなデジタルツールを導入しました

予約サイトの活用

会計ソフトの導入

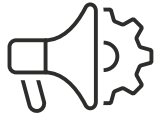
スマートレジの導入





デジタル導入による解決

会計ソフト (freee会計) の導入 スマートレジ (Airレジ) の導入



時間短縮と効率化に つながった

会計ソフトを導入したことによって、帳簿入力にかかる時間を約1時間程まで短縮することができました。また、スマートレジの導入で売り上げ管理が同時にできるようになり、必要な方だけに領収書をお渡しするという形になり、毎回のお会計にかかる時間と負担が減りました。

さらに、スマートレジにて顧客管理ができ、施術時のメモなどもその都度見返すことができるようになりました。スマートレジで伝票入力ができるようになったことで、お客様からも「会計処理が以前よりスムーズになったね」と言って頂け嬉しかったです。



会計ソフトとスマートレジの連携で会計事務を効率化

予約サイト (tol) の活用



スケジュール管理が スムーズにできた

予約システムの導入で、お客様側に予約をして頂くことで、LINEでのやりとりの手間とスケジュール調整ミスが無くなりました。事務作業の短縮化によって、時間にも心にもゆとりができ、丁寧な接客に意識を向けることができるようになりました。

今まではLINEで日程変更や調整を行っていたので、会話のラリーが多くなってしまいがちでしたが、今回の予約システムの導入で「空いている日程も一目で分かり日程変更が気軽にできるようになった」というお声と「予約の前日にメールが届くのも助かる」というお声を頂きました。



導入した予約システム (tol) の画面



導入までの道のり

自分にとっての使いやすさを追求する

デジタル導入までに行ったことは、各種システムの比較でした。

- ・予約システム二種比較 (STORESとtoor)
- ・会計ソフト二種比較 (弥生会計とfreee会計)

実際に試用し、それぞれの違いを体感し、使いやすさ、そしてコスト面からもしっかりと比較をしました。とことん自分にとっての使いやすさを追求することで、使っても納得のいくものとなりました。

簡単ではないこともあったが
サポートを受けて乗り越えました

デジタル導入までに苦労をしたこともあります。デジタルツールを試すと便利な機能を使うには、設定などの準備が必要でした。分からないことが出てきましたが、その都度質問を行ったり、操作方法を教えていただいたり、時には一緒に考えたりと、支援者と一緒に乗り越えていきました。

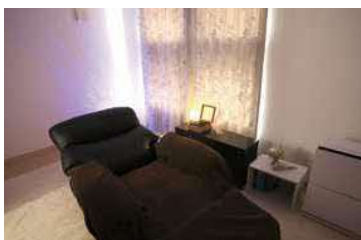
自分一人ではなく支援者がいてくれたことが大変心強かったです。

デジタル導入を終えて

個人事業主にもやさしいデジタル導入

今回、領収書の入力の方法や、仕分け方法などを教えて頂いたのですが、創業してまだ一年目で全くの初心者のため、操作がわからず、何度かお尋ねさせて頂くこともありました。その度に担当者さんが丁寧に教えてくださったので、このような企画に参加させて頂けて本当に良かったです。

私のように個人事業主で、デジタル導入したいけれど難しそうだからと悩まれている方にぴったりの支援だと感じました。また、デジタル導入に少しでも興味があるという方は、商工団体やよろず支援拠点など身近な支援機関に相談して見てください。鳥取県の事業者のデジタル化の裾野がどんどん広がっていくと良いと思います。



デジタル導入は人を意欲的にしてくれる



今後は、LINE上でのポイントカード管理やQRコード決済の導入など、お客様とお店の双方が負担軽減や時間削減ができるよう積極的にデジタル導入や電子化を進めていきたいと思えるきっかけになりました。また、キャンペーンやインスタなどにもエアレジでのデータを活かした内容を反映していきたいと思っています。

今回のデジタル導入をきっかけに、自分ができることにもっとチャレンジしていきたいです。





「職人による技術力と創造力」 が心を喜ばせる

足芝建築株式会社は、伝統的技術を持った建築大工職人が多数所属しており、社長である足芝さん自身も建築大工職人です。

地元工務店から独立し、建築大工職人として技術の鍛錬を積み、建築知識を深め続けてきました。数々の経験に基づき技術と責任施工を大切に、現在では、一般のお客様の住宅リフォームから法人店舗等の建築まで幅広く依頼があります。また、2015年に開始した木工品・家具建具製造は順調に発展しており、ネットショップでの小売りから、全国の法人からの大量発注を受けています。

建築大工ならではの手加工はもとより、最新NC工作機械も積極的に導入して世の中のニーズに対応できるように日々努めている前向きな会社です。

「これからも建築のプロとして皆様のお役に立ちたい」その志を胸に活動されています。

この度のデジタル導入により、業務の効率化を図り、一層その思いを強くされました。



企業情報

足芝建築株式会社
鳥取県米子市
淀江町富繁103-5

TEL/0859-57-5356

代表取締役 足芝和豊氏



足芝建築株式会社
ASHIZAWA ARCHITECTS



facebook



Instagram





成長期の企業が抱える課題



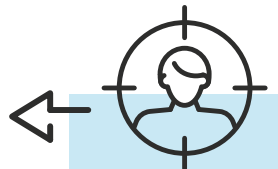
成長期の企業は、家族中心の経営から従業員が増えていきますが、業務の中心が社長に偏る傾向があります。足芝建築株式会社も同じ悩みを抱えていました。

社長業務の負担軽減と社内の情報を活用した、効率化と利益・資金管理の基礎作りが必要となりますが、その課題をデジタル導入により解決へと導きました。



導入前の課題

業務過多の軽減へ



こんなデジタルツールを導入しました

社長に負担が偏り業務過多となっていた。



スマホ・スマートウォッチの活用
リマインダーの活用

「ショートカット」アプリによる移動時間の有効活用



こんなデジタルツールを導入しました

- ・案件の新規受付／納品後の請求書発行までの情報が各担当で共有できていなかった。
- ・月報から日報に負担なく変更したい。
- ・仕入れ単価ベースの情報を整理したい。



業務システム kintone の活用

原木仕入をアプリで管理
工事管理の分析集計表
見積・請求書の発行をアプリで効率化
作業日報をデジタル化



デジタル導入による解決

業務システムソフト(kintone)の活用



社長の業務負担が軽減した

kintone導入と同時に徐々に紙ベースの報告、電話での諸確認が少なくなり、仕入れ管理・データ集計が楽になりました。それにより、資金繰りや利益管理の精度向上が期待できます。工事完了からの請求書発行の流れも良くなり、経理処理もスムーズになりつつあります。必要なアプリを自社のニーズに合わせてカスタマイズできるのも魅力です。

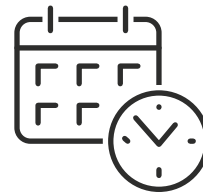


kintoneの管理画面
見積・請求書の発行がスムーズに



自社商品

スマホ・スマートウォッチのアプリ(ショートカット機能)をフル活用



すき間時間の有効活用¹
情報共有の円滑化を実現

「ショートカット」アプリを用いることで移動時間の有効活用が可能になりました。

現場移動の間などに残した音声メモをスマートウォッチから自動的にメール送信、やることリストへの登録(リマインダーの活用)ができるため、すき間時間が有効に使えるようになりました。社員との情報共有にも大変効果的です。

また、日頃使っているデジタルツールをそのまま業務でも使えることが嬉しかったです。操作の負担もなく効率化に生かすことができました。



社長(現場)

取締役(オフィス)

リアルタイムで情報共有・事務処理もスムーズに



導入までの道のり

今使っているものを活かして

予想以上に社長にかかる業務の負担が大きいため、どの業務が軽減可能か現状を細かく分析することが重要でした。また、今使用しているスマホやデジタル機器を活用し、低コストで効率化ができる方法を検討しました。



デジタル導入を終えて

自分達にはない専門家の視点

色々なシステムがある中、弊社には何が合うのか？とても自分達では探しきれませんでした。専門家に最適なものを提案頂いて導入しやすかったです。専門家ならではの視点とアドバイスがあったからこそ、気づかなかったことに目を向けるきっかけとなりました。

デジタル導入することで、社内の情報共有がスムーズになり、処理が速くなったと思います。アナログベースだったものが、デジタルベースになることの重要性を体感しました。まだはじまったばかりですが、今後も継続していきたいと思っています。

効率化は

明るい展望につながる



効率化を図ることは、データ分析に繋がります、その結果が売り上げ拡大へと繋がっていきます。その先に利益確保、赤字をなくす、資金管理ができるなどの大きなメリットが見出されます。

今後も、このデジタル導入をきっかけに効率化を図り、お客様の満足度へと繋げる取り組みを続けていきたいと思っています。最終的に「建築のプロとして皆様のお役に立ちたい」その志を胸に心喜ばす企業へと成長を続けていきたいと思っています。





「お客様の笑顔のために」 頑張る会社

山陰松島遊覧船は、「山陰の松島」とも謳われる景勝地、山陰海岸国立公園を巡る遊覧船を運航しています。陸上からは見えない断崖、奇岩の絶景や、最高水中透明度25mを誇る水底を見通す透明な海を間近に体験でき、国内はもちろん、海外の観光客も大勢訪れる会社でもあります。

就業規則改定や、「コト商品」、オリジナル商品の開発ミーティングなどで職員と顧客満足の向上に努める山陰松島遊覧。社員同士の絆を強めつつ、ICT導入、オリジナル商品の追求と、さらなる挑戦を続けている会社です。



企業情報

山陰松島遊覧株式会社
鳥取県岩美郡岩美町大谷2182
TEL/0857-73-1212
代表取締役 川口 博樹氏



facebook



@natane_chan

Twitter



課題 拡大期の企業が抱える

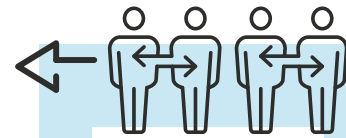


業務分担が進み、企業が組織化されており、売り上げが増加していく拡大期の企業。一方で、一人一人の生産性の向上が課題になるケースが多くあります。こちらの山陰松島遊覧株式会社も同様な悩みを抱えていました。属人的な業務になりやすいため、デジタル化により標準化を図り、効率化を目指していきます。



導入前の課題

スピードを持って効率化を目指していく



働くフィールドが広いため、誰がどこで何をしているかわからず、必要な時に必要な人がポジションに就いていないなど、サービスの低下や機会損失を起していた。

こんなデジタルツールを導入しました



みてねまもりGPSの
位置情報管理システム
タブレット等の管理用機器



乗船券の発券、乗船時の切符切り（検札）、発券数と乗船者数の確認などに手を取られ、乗客乗船時の安全確認や出航前の人数チェックに時間がかかったり、効率の悪さが課題であった。

こんなデジタルツールを導入しました



バーコードツール
スキャン用タブレット等の機器



デジタル導入による解決

バーコードツール
スキャン用タブレット等の機器



単純なミスが
なくなった

デジタル導入へのハードルが下がったことが非常に助かりました。単純な数え間違いの削減につながったり、このシステムを第一段階として今後は経理などの集計や分析ツールとして活用する足掛かりとなりました。

また導入中もサポートしていただけるので運用しながら出てくる問題にも対応できました。



乗船受付のスキャナー



受付(現場)

経理(オフィス)

バーコードツールを導入したことにより集計・分析が簡単になる

GPSの位置情報管理システム
タブレット等の管理用機器



従業員の効率的な配置が可能に

GPS端末の導入検討時、その精度とタイムラグの問題から導入が難しいかとも思われましたが、良い機器をご提案いただき導入することができました。必要な時に必要なポジションにつけるようになり、お客様へのサービス向上につながることを期待できます。我々のみでは解決できなかったかもしれないので非常に助かっています。



みてねみまもりGPSの位置情報管理システム導入により効率の良い働き方を実現



導入までの道のり

試行錯誤と比較の末に見つけたツール

導入にあたって、機器の比較を多く行いました。位置情報の精度が悪く、自社には合わないツールもありました。複数のGPSを試用することで納得のいく機器選定をすることができました。

また、受付業務方法の検討の際には、タブレットのスキヤン機能も検討しましたが、市販アプリではお客様に操作をしていただく必要があり、安全面から断念しました。様々なツールを試用することで、ようやくバーコードをスキヤンする運用にたどり着きました。



デジタル導入を終えて

コロナ対策にもなりました

乗船時の検札が非接触となったので、コロナ対策として安心して利用できるようになりました。今まではレジが無人でスタッフを呼ばないといけないことがありましたが、その手間を解消できました。

効率化 そして 安全管理へ

また、疑問や解決したい事が多岐に渡っていましたが、支援にあたる専門家がとてもスムーズに回答してくださり助かりました。システムの基本的な考え方から教わりました。効率化の先には、お客様の安全管理につながりサービスの質の向上が実現できます。

効率の良い働き方改革へ その先を見据えて



位置情報管理システムを活用し、一日の振り返りとして無駄な動きがなかったか、忙しいときに必要なポジションに就けていたかなどを確認することで、効率の良い働き方につながっています。

効率良く働けるようになったので、生産性も上がりサービス向上にも繋がると思います。今後はA-カメラなどを導入し、施設内のお客様の動きや属性を知ることできるサービスの向上、売上の増加を目指します。又、乗船チケットのデジタル化も進め、発券・精算・検札・集計などの業務負担を軽減することで、今後はさらなる働き方改革にもつながりたいと思います。

